

高熱後の赤い皮膚発疹の改善ケース（急性）

ホメオパシーセンター韓国 ホンソン

Holistic Homoeopathy Lab MUJIGAE

JPHMA 認定ホメオパス No.0957

インナーチャイルドセラピスト No.0225

アニマルホメオパス No. A0127

長谷川希生（はせがわきせい）

対象：生後五ヶ月男児

主訴：皮膚発疹

経緯：膿が出る湿疹、赤い。高熱が出た後に赤い発疹が出てどうしていいかわからない。もともと乳児湿疹があって皮膚の状態が良くないが、様相が全然違うので心配だとクライアントから連絡が来る（写真1）

2022年5月30日

レメディー：

Staphy.200c Strept.200c Herpes. 200c Varic.200c（砂糖玉）

Φ サポート粘膜と一緒に水に入れて随時飲ませる

Φ サポート粘膜 20mlの水に2、3滴入れて随時飲ませる

Bac.200c（砂糖玉） 1日に一回（夜）

レメディーの選択理由

Staphy.（ブドウ球菌）発疹の様相がブドウ球菌の症状と似ているため

Strept.（連鎖球菌）膿が出ている状態に

Herpes.（ヘルペス）サル痘が流行してきたという知らせとコロナワクチンのシェディングの影響を考慮して

Varic.（水痘）サル痘が流行してきたという知らせとコロナワクチンのシェディングの影響を考慮して

Φ サポート粘膜 皮膚と粘膜の再生をサポートするため

Bac（結核マヤズム）黄色い膿が出る皮膚の状態、アレルギー体質でもあるので

経過：レメディーを飲み始めてから次の日から発疹の赤みが引いてきた。膿の量も減った。1週間で赤かった皮膚の状態から赤い発疹が出る前の皮膚の状態に戻った。（写真2）2022年6月10日

考察：子どもが熱を出した後に赤い発疹が出てきた。この時の状態からぶどう球菌がメインのノゾースであるが、サル痘が流行してきたという知らせとワクチンのシェディングの関係も考慮してヘルペスと水疱瘡ののゾースも一緒にコンビネーションした。それとともにアレルギーや膿が出る傾向のマヤズムレメディー（Bac.）で刺激をした。それと共に皮膚の再生を物質的にもサポートするためにサポート粘膜を使用し、その効果を見ることができた。クライアントの母親はホメオパシーでセルフケアを10年ほどしているベテランではあるがホームキットではカバーできず、

ノゾースを的確に使用することによってすぐ改善することができた。各エネルギーレベルに合った刺激を与えることで速く、穏やかに作用することができることを確認した。



写真1

写真2